

# こんな症状が突然起こったら、 脳卒中かもしれません！



## 脳卒中とは

一般に「脳卒中」と呼ばれる「脳血管疾患」は脳の血管の詰まりや破裂によって突然起こる疾患です。血管が詰まることで血液の流れが悪くなり起こる「脳梗塞」と、血管が破れて起こる「脳出血」、「くも膜下出血」があります。\*1

## 一刻も早い治療を

脳卒中は死亡原因の4位（\*2）であり、2019年の国民生活基礎調査によると、介護度の高い要介護4、要介護5の主な原因は脳卒中が第1位となっています。脳卒中はできるだけ早く治療を受けることで、高い効果が見込まれます。

## こんな症状は119番！

次のような症状が突然起こったら、すぐに救急車を呼び、適切な治療を受けることが大切です。救急隊には、「いつ」、「どんな症状が起きたか」、を伝えることがポイントです。救急車を呼ぶか判断に迷った場合は、「救急相談センター」（☎#7119。携帯電話、PHS、プッシュ回線のみ。）へ相談しましょう。

## 自分で気づく症状

- 片方の手足・顔半分の麻痺、しびれが起こる
- ろれつが回らない、言葉が出ない、他人の言うことが理解できない
- 立てない、歩けない
- 片方の目が見えない、物が2つに見える、視野の半分が見えなくなる
- 経験したことのない激しい頭痛が起こる



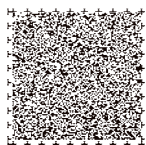
## 周りの人が気づく症状

- 歯を見せるように笑ってもらっても、顔が歪んでしまう
- 両腕を挙げて目を閉じてもらうと片腕が挙がらない、又は下がってくる
- ろれつが回らない、言葉が出ない、意味不明なことを言う



### 《北多摩西部脳卒中医療連携推進事業について》

北多摩西部保健医療圏（立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市）では、北多摩西部保健医療圏脳卒中医療連携推進協議会を設置しています。この協議会は、地域の急性期病院、在宅医療機関・施設、各市医師会、各市健康主管課、消防、保健所等関係機関で構成され、脳卒中を発症した患者を速やかに適切な医療機関に救急搬送できる仕組みを構築するとともに、地域において急性期から回復期、在宅療養に至るまでの切れ目のない医療・介護サービスを受けることができる仕組みを構築するための事業に取り組んでいます。



\*1 出典：とうきょう健康ステーション

\*2 令和2年人口動態統計より